

新春講演会

講師 おきなわ証券代表取締役社長 高江洲昌和氏
演題 『直接金融の時代へ、その仕組みと活用法』
小人数私募債、グリーンシートを中心に

直接会場にご来場ください、無料です。

日時 05年1月17日(月) 20:00 - 21:30

(仕事が終わってからでも御参加可能なよう、遅い時間を設定しました。)

場所 沖縄大学1号館601教室

主催 沖縄大学吉川研究室、日本ベンチャー学会沖縄研究部会

講演会終了後、講師を囲んでパーティー(無料、ノンアルコール・ビール)をします。これにもご参加ください。

<講演内容>

- ・間接金融から直接金融への時代背景
- ・企業の資金調査方法の推移と家計資産の日米比較
- ・間接金融と直接金融の仕組み
- ・直接金融の手法
- ・小人数私募債、疑似私募債の説明
- ・グリーンシートの説明

代表取締役社長
高江洲 昌和 (たかえす まさかず)

1982年沖縄証券入社。コザ支店副支店長、法人部次長、コザ支店長を歴任し、2002年11月代表取締役社長に就任、2003年10月大宝証券との統合後おきなわ証券代表取締役社長に就任現在に至る。

琉球大学法文学部経済学科卒業。



株式公開はまだまだ、しかし…!

沖縄でもすでに、株式公開を目指している企業が現れはじめています。しかし多くの企業は「わが社は株式公開はまだまだ早い、しかし直接金融による資金調達は必要だ」と考えています。

そのような段階にピッタリなのが小人数私募債とグリーンシートです。

小人数私募債って何?

要は縁故の借入と同じですが、親戚、知人など複数の人を対象に一律の条件で社債券を発行し、資金調達をする方法です。必要なものは財務内容の開示、事業計画などで比較的容易に発行が可能です。勿論、所有権や経営

権を迫られることもなく「物的担保より企業の将来性」などを重視する無担保社債で5億円迄、調達可能です。
(ただし、証券取引法上の諸制度の免除を受けるには、募集総額を1億円未満とする必要があります)

資金調達に加えてさらに、理解者・支援者のネットワークができ、いわば後援会組織が構成され、また金融機関からの格付けが上がるなど多くのメリットが得られます。

ちなみに沖縄県内では、商工中金や銀行を受託先とした私募債が多く発行されています。

直近では、2004年2月に沖縄ツーリストが1億5,000万円の無担保私募債を発行し、みずほ銀行が全額を引き受けました。また2004年8月には、OAS(沖縄日通エアーカーゴサービス会社)が5,000万円の無担保私募債を発行し琉球銀行が全額引き受けています。

少数人私募債では、トリム(廃ガラスの再生事業会社)が2002年9月に総額9,000万円を発行し、親戚、友人、知人、取引先を引き受け先として、資金調達を行っています。

その他、個人企業や有限会社が擬似的な私募債を発行するケースもあるようです。

グリーンシートって何?

グリーンシート市場は、日本証券業協会が未上場企業のために開設した証券市場です。証券取引法上の正式な証券市場ではありませんが、証券会社によって株式が売買されており、未上場企業が公募増資によって株式を発行して投資家から3億円まで資金調達できる市場です。

グリーンシートの登録は現在('04年11月)97銘柄で、その中に「エコワールド沖縄」と「チャイルドフード」の県内2社があります。エコワールド沖縄は「1秒充電ユニット」、「障害感知システム」を開発した企業、チャイルドフードは携帯型ブックレット「100シリーズ」を出している出版社です。両者はそれぞれ(エコ7,805万円、チャイルド5,550万円)の資金調達をしています。

ユイマール、模合いの伝統

一般的に、株式投資の主な目的は、買った株式を短期的に売却して利益を得る事ですが、これから成長しようという企業にとって重要なのは、企業の理念やビジネスモデルに共感し長期的に応援をしてくれる投資家です。

沖縄には元々、ユイマールという助け合いの精神や模合いの文化があり、地元の為になれば資金的に助ける素地が他府県に比べ大きいと思われます。これは、成長の見込まれる企業を資金的に助けてゆこうという、グリーンシートの理念と相通じるものがあります。グリーンシートは沖縄の風土にマッチした直接金融の市場と言えます。